

課題の特定1

対話型調停の流れ・構造

挨拶/契約	安心・安全な場を保証 手続への期待を醸成 話し合い方への合意
声 (Voice)	参加者が対等に語れる時間を持つ 課題の特定
選択 (Choice)	現実的に取り得る選択肢をはっきりさせる 当事者が自分で決める 合意文書作成

調停人関与の全体像

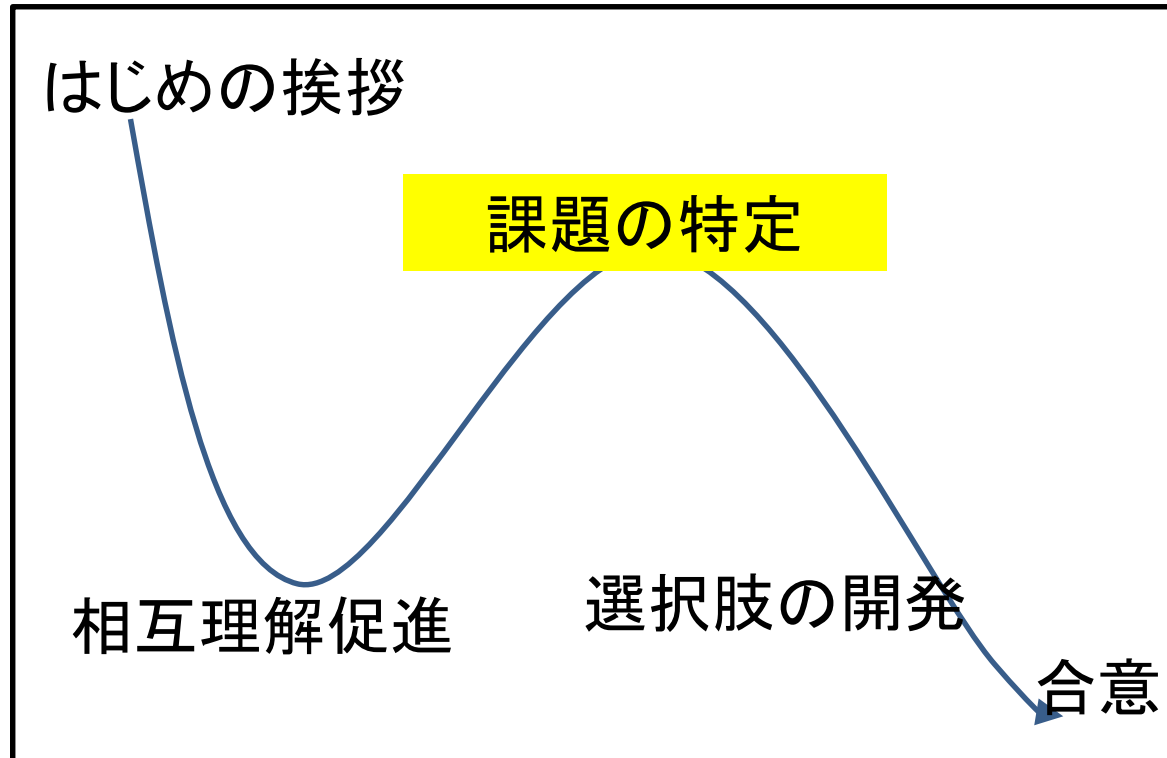
抽象的

[共通性確認]



[各々の語り]

具体的



はじめの挨拶

課題の特定

相互理解促進

選択肢の開発

合意

[引き取り]



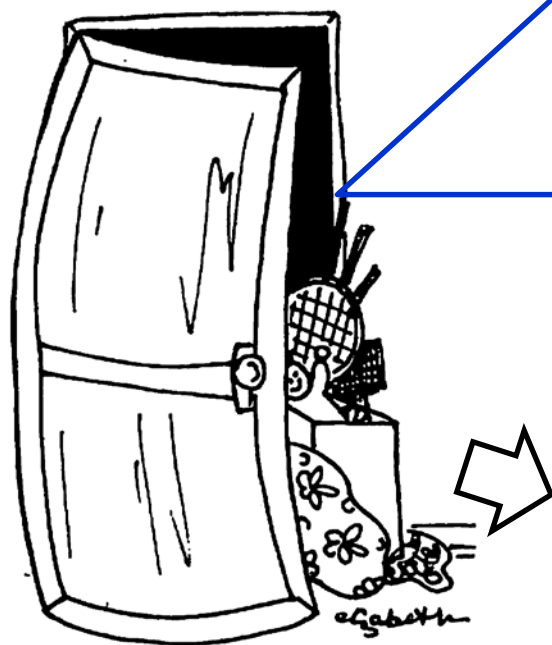
[促し]

調停人主導

当事者主導

課題の特定のイメージ

- 協働の問題解決
- 全体(多様な利害)をカバー



ひろげる

一旦外に並べる
聴く

まとめる

クローゼットの「箱」
＝課題



課題（イシュー）とは

話し合いによって解決すべき「問い」

- 主張・要求そのものではなく、利害・本音そのものでもないが、それらを含めて、当事者が話ができるような「議事次第」と考えると良い。
- 裁定・評価するための「争点」ではない。